

2020 年度版

# 環境経営レポート

運用期間(2020年7月1日～2021年6月30日)



株式会社 インター電子部品

2021年7月17日発行

## 1. 事業の概要

(1)会社名 株式会社インター電子部品

(2)代表者名 代表取締役社長 久保龍也

(3)所在地 本社 〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1610-16

(4)事業所

本社 〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1610-16

大宮営業所 〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町603-1-201

東京営業所 〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 28 番地 田澤神田ビル 2 階

(5)環境管理責任者 営業部 橋本智博

(6)連絡先 電話 028-648-6767

FAX 028-648-6490

E-mail t\_hashimoto@inter-dennshi.co.jp

(7)事業活動 半導体製品及び関連製品の設計開発と販売

(8)事業の規模 2020 年度(2020 年 7 月～2021 年 6 月)

資本金 3,000 万円

製品売上高 10億円 (2020 年度)

従業員数 10 名

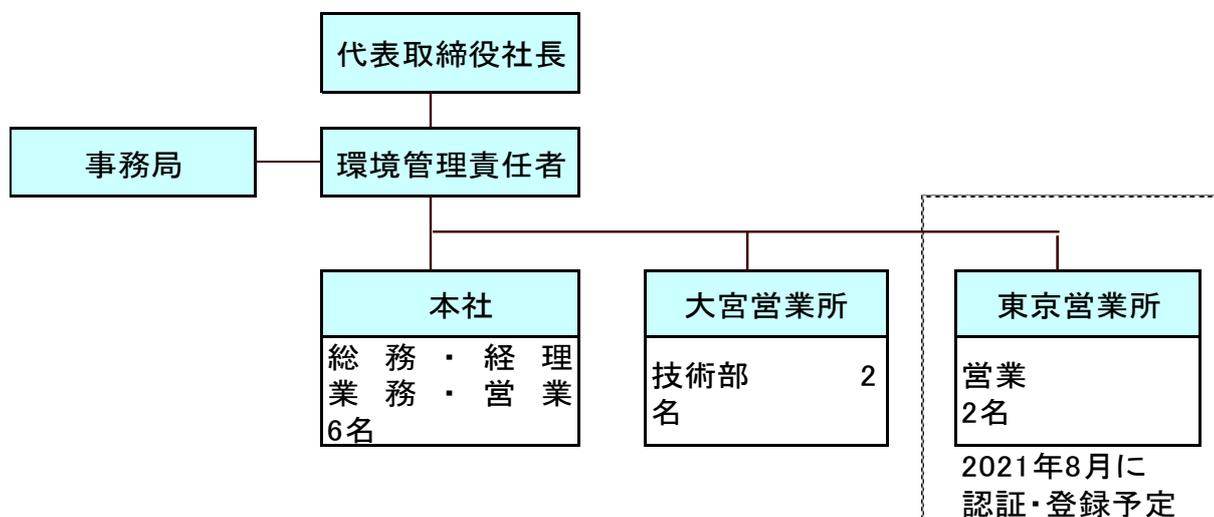
敷地面積 341.57 m<sup>2</sup>

(9)対象範囲

事業所:本社、大宮営業所

事業内容:半導体製品及び関連製品の設計開発と販売

## 2.会社組織図



### 3. 環境方針

#### 環境経営方針

当社は電子部品、及びそのシステムを販売する商社として事業活動において、地球環境問題の取組を社会的責務と認識し、環境負荷の低減、環境改善に貢献する商品の提案を重要課題として、環境経営システムを下記のように取り組んで行くことを宣言します。

- 1、環境経営システムを継続的に改善します。
  
- 2、環境関連法規、条例及び当社が同意した事項を遵守します。
  
- 3、次の項目を重点活動項目と定め、事業活動の環境負荷及び、当社製品サービスの利用者の環境負荷の低減を推奨します。
  - 電気 ガス 燃料等のエネルギー及び水の使用量を低減します。
  
  - 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し、再資源化を推進します。
  
  - グリーン調達を推進します。
  
  - 省エネを達成する事を可能にする商品を社会に提案していきます。
  
- 4、環境方針を社員全員へ周知徹底の上、社員一人一人が責任を持って環境経営システムに取り組んでいきます。

制定日 2009年 2月 25日  
株式会社 インター電子部品  
代表取締役社長 久保 龍也

## 4. 環境目標

当社の環境目標は、本社と大宮営業所(2012年度活動開始)を区分して環境目標を設定した。

環境目標は二酸化炭素排出量(電気使用量、ガソリン使用量)の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、グリーン調達、省力化製品の拡販、環境に配慮した設計、BCP(事業継続計画)の構築・運用です。

目標項目				パートⅣ				
				年度				
				2017年度 (2017年7月～ 2018年6月)	2018年度 (2018年7月～ 2019年6月)	2019年度 (2019年7月～ 2020年6月)	2020年度 (2020年7月～ 2021年6月)	
				(基準)				
1、エネルギー使用量の削減 (2020年度までに、2017年度 比で3%削減する)	電気使用量	kwh	本社	17,784	17,606	17,428	17,250	
			大宮営業所	5,521	5,466	5,411	5,355	
			合計	23,305	23,072	22,839	22,605	
	ガソリン使用量	L	本社	7,189	7,117	7,045	6,973	
			大宮営業所	364	360	357	353	
			合計	7,553	7,477	7,402	7,326	
2、二酸化炭素排出量の削減(2020年度までに、2017年度 対比で3%削減する。) : CO2 排出係数 = 0.462	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	23,461	23,226	22,992	22,757	
			大宮営業所	2,932	2,903	2,873	2,844	
			合計	26,393	26,129	25,865	25,601	
3、廃棄物の排出量の削減(2020年度までに、2017年度 対比で3%削減する。)	廃棄物	kg	本社	587	581	575	552	
			大宮営業所	30	30	29	28	
			合計	617	611	604	580	
4、水使用量の削減(2020年度 までに、2017年度対比で3% 削減する。)	上水使用量	m	本社	63	62	62	61	
			大宮営業所	38	38	37	37	
			合計	101	100	99	98	
5、グリーン購入			本社	グリーン製 品の調達				
6、省力化製品の拡販		件数	本社	20	21	22	23	
7、設計、開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対 応した部品 調達				
8、BCP(事業継続計画)の構築 と運用			本社 大宮営業所	BCPの構 築・運用				

## 5. 環境目標の実績

年度 目標項目			環境目標達成状況					
			2017年 度	(2020年7月～2021年6月)				
				2020年度目標と実績	目標(A)	実績(B)	目標との 差異(B-A)	評価
サイト	(基準 値)							
1. エネルギー使用量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で3%削減する。)	電気使用量	Kwh	本社	17,784	17,250	21,553	4,303	×
			大宮営業所	5,521	5,355	4,943	-412	○
			合計	23,305	22,605	26,496	3,891	×
	ガソリン使用量	L	本社	7,189	6,973	8,925	1,952	×
			大宮営業所	364	353	350	-3	○
			合計	7,553	7,326	9,275	1,949	×
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で3%削減する。) :CO2排出係数=0.462	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	23,461	22,757	31,271	8,514	×
			大宮営業所	2,932	2,742	3,096	354	△
			合計	26,393	25,499	34,367	8,868	×
3. 廃棄物の排出量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で6%削減する。)	廃棄物	kg	本社	587	552	399	-153	○
			大宮営業所	30	28	29	1	△
			合計	617	580	428	-152	○
4. 水使用量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で3%削減する。)	上水使用量	m3	本社	63	61	70	9	△
			大宮営業所	38	37	30	-7	○
			合計	101	98	100	2	△
5. グリーン調達を推進する	件数	件	本社	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	-	○
6. 省電力機器への製品拡販			本社	製品拡販	製品拡販	製品拡販	-	○
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品設計	省エネに対応した部品設計	省エネに対応した部品設計	-	○
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社	BCP構築・運用	BCP構築・運用	BCP構築・運用	-	○
			大宮営業所					

★目標達成度の評価基準

○:100%以上

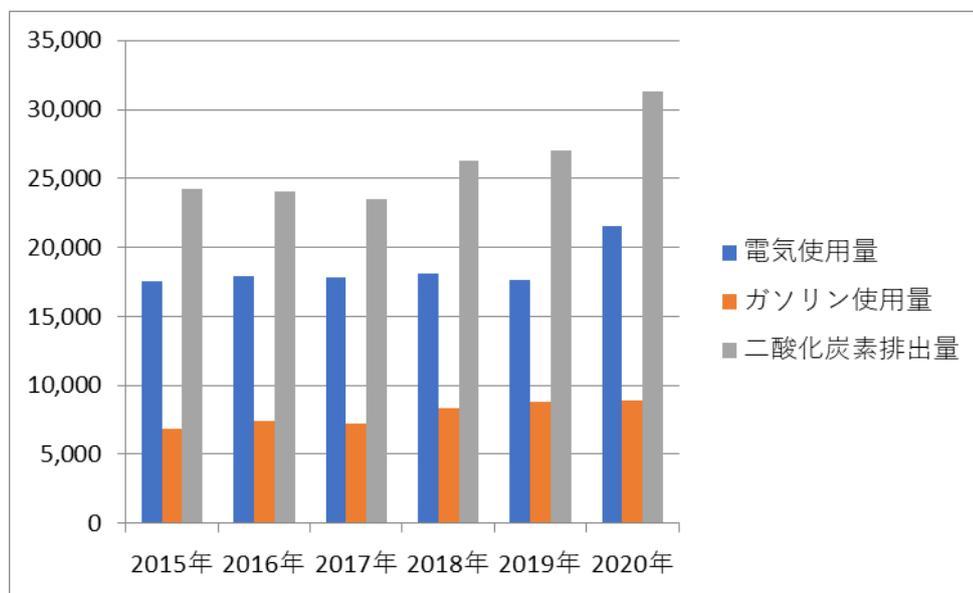
△:100%～80%

×:80%以下

## 6. 環境目標に対する実績推移

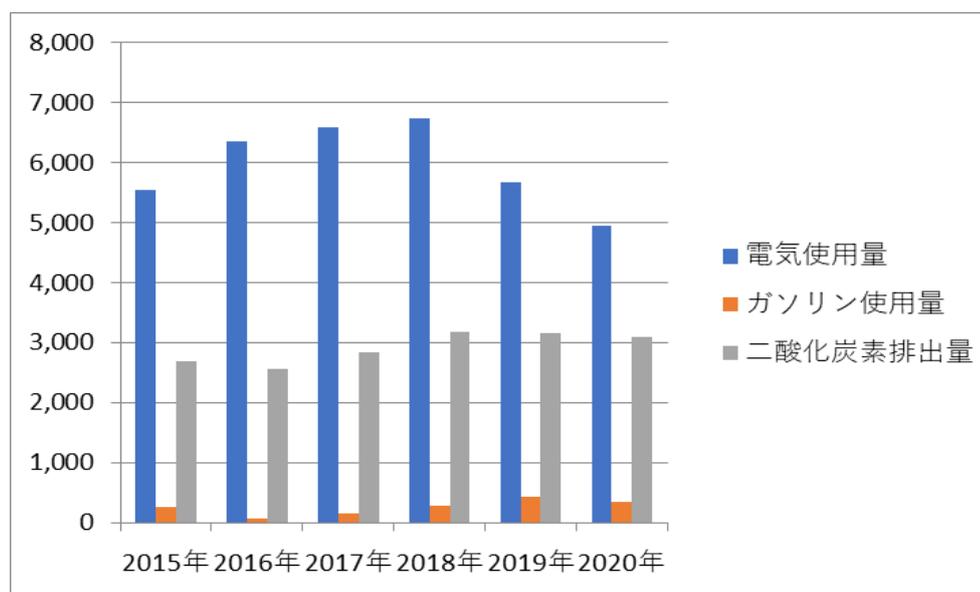
本社

	2016年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
電気使用量	17,579	17,910	17,784	18,131	17602	21553
ガソリン使用量	6,867	7,437	7,189	8,377	8787	8925
二酸化炭素排出量	24,200	24,090	23,461	26,309	27054	31271



大宮営業所

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
電気使用量	5,544	6,348	6,581	6,736	5,681	4,943
ガソリン使用量	250	71	146	282	432	350
二酸化炭素排出量	2,676	2,564	2,827	3,181	3,150	3,096



## 7. 主な活動計画の内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減(電気使用量・ガソリン使用量)
  - 1) 電気使用量の削減
    - ① エアコンの温度管理(夏:28°C、冬:22度)  
・夏は、昼光を極力遮断し、冷房効果を高める。冬は、昼光を積極的に取り入れる。
    - ② ウォームビス、クールビスの推進
    - ③ 人があまりいない場所の蛍光灯台数を減らす。 空室・昼休み時の消灯の徹底
    - ④ OA 機器の節電対策(OA 機器の節電モード)
  - 2) ガソリン使用量の削減
    - ① エコドライブ
    - ② 走行ルート最適化、不要な積荷をしない。
    - ③ 営業車のハイブリッド化
- (2) 廃棄物の排出量の削減
  - ① 廃コピー用紙の削減(裏紙の使用)
  - ② 廃ダンボールの削減(梱包資材としての再利用)
  - ③ 生活ゴミの削減
  - ④ 新聞紙をクッション材として使用
- (3) 水使用量の削減
  - ① トイレの流水量の調整と節水に努める。
  - ② 節水型トイレに変更
- (4) グリーン調達推進(本社)
  - ① グリーン製品の調達を増やしていく。
  - ② 購入品の製品含有化学物質の管理(ROHS 指令)
- (5) 省力化製品の拡販(本社)
  - ① 省力化製品(IGBT、LED 等の低損失半導体の拡販)の拡販
- (6) 環境に配慮した部品選定、設計を考慮する。
- (7) BCP(事業継続計画)の構築と運用
  - ① 影響度調査レポート、リスク対策一覧表の作成と見直し。
  - ② 防災マニュアル・業務継続マニュアル・災害復旧マニュアルの運用と改善。
  - ③ 事業継続計画書を作成し、BCP の構築を推進。
  - ④ BCP の勉強会、防災訓練を実施する。

## 8. 環境活動の取組み結果・評価と次年度の計画

目標項目	年度		サイト	環境目標達成状況					取組結果の評価	次年度計画		
				2017年度 (基準値)	(2020年7月～2021年6月)							
					2020年度目標と実績		目標との 差異(B-A)	評価				
目標(A)	実績(B)											
1. エネルギー使用量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で3%削減する。)	電気使用量	Kwh	本社	17,784	17,250	21,553	4,303	×	・電気使用量の増加は夏場の猛暑及びコロナ化の為換気による効率の低下が要因です ・O A機器節電モードの実施ガソリンの増加は遠方の顧客が増えた為です	・節電活動 消灯管理とエアコンの温度管理の継続 ・O A機器の節電モードの実施継続 ・エコドライブの推進		
			大宮営業所	5,521	5,355	4,943	-412	○				
			合計	23,305	22,605	26,496	3,891	×				
	ガソリン使用量	L	本社	7,189	6,973	8,925	1,952	×				
			大宮営業所	364	353	350	-3	○				
			合計	7,553	7,326	9,275	1,949	×				
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で3%削減する。) :CO2排出係数=0.462	電気使用量 ガソリン使用量	kg-CO2	本社	23,461	22,757	31,271	8,514	×	廃コピー用紙の活用と 廃棄物の分別に取り組 んでいる	廃コピー用紙の活用と 廃棄物の分別管理の継 続		
			大宮営業所	2,932	2,742	3,096	354	△				
			合計	26,393	25,499	34,367	8,868	×				
3. 廃棄物の排出量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で6%削減する。)	廃棄物	kg	本社	587	552	399	-153	○			・節水活動の実施	・節水活動の継続
			大宮営業所	30	28	29	1	△				
			合計	617	580	428	-152	○				
4. 水使用量の削減 (2020年度までに、2017年度対比で3%削減する。)	上水使用量	m3	本社	63	61	70	9	△	・グリーン調達品の購入 促進	継続		
			大宮営業所	38	37	30	-7	○				
			合計	101	98	100	2	△				
5. グリーン調達を推進する	件数	件	本社	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	-	○	グリーン調達品の購入促進	継続		
6. 省電力機器への製品拡販			本社	製品拡販	製品拡販	製品拡販	-	○	販売活動	継続		
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品設計	省エネに対応した部品設計	省エネに対応した部品設計	-	○	省エネ対応の設計・開発	継続		
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社	BCP構築・運用	BCP構築・運用	BCP構築・運用	-	○	BCPの実施運用	新型コロナウイルス対策の構築運用		
			大宮営業所	BCP構築・運用	BCP構築・運用	BCP構築・運用	-	○				

★目標達成度の評価基準 ○:100%以上 △:100%～80% ×:80%以下

## 9. 環境整備と地域との共存

- (1) 環境美化の一環として社屋周囲の除草、清掃を実施
- (2) 降雪時に社屋周辺道路の雪かき実施

## 10. 代表者による全体評価と見直し

- 1、環境経営方針、環境経営目標 経営計画 実施体制については変更の必要はない。
- 2、電気使用量の削減は、節電啓蒙活動を継続して実施する。
- 3、環境目標は年々厳しくなっているが省エネ、節電活動への従業員の参画を更に推進する。
- 4、新型コロナウイルスの影響で、社会経済が低迷しているが、営業活動と開発設計は、営業力と技術力で更なる成果を期待している。
- 5、環境整備、地域との共存を意識し環境美化を推進する。
- 6、BCP(事業継続計画)は、新型コロナウイルス対策を追加する。

## 11. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

- (1) 2020年7月12日に環境関連法規の遵守状況の確認・評価を行った結果、環境関連法規等の違反はありませんでした。
- (2) 関係当局よりの違反などの指摘は、過去4年間ありません。又、訴訟等もありません。

関連法規	要求事項			遵守状況
	対象サイト	設備・業務等	要求内容	
廃棄物の処理及び清掃に関する法規	本社 大宮営業所	一般廃棄物:廃紙類・その他の生活ごみ 産業廃棄物:廃棄する半導体製品及び関連製品	一般廃棄物処理業者の委託契約書 産業廃棄物の収集運搬・処理業者との委託契約書 産業廃棄物管理票の管理	適合
浄化槽法	本社	町内会共同使用浄化槽	保守点検成績書(1回/年)	適合
リサイクル法(資源有効利用促進法)	本社 大宮営業所	パソコン、小型2次電池	廃棄時の管理	適合
家電リサイクル法	本社 大宮営業所	冷蔵庫・エアコン	廃棄時の電気店引き渡しの管理	適合
自動車リサイクル法	本社 大宮営業所	業務用社用車	買い替え時の自動車業者引き渡し管理	適合
グリーン購入法	本社	文具・梱包材等	エコマーク製品の選定購入	適合
顧客その他要求事項	本社	製品含有化学物質管理	ROHS 適合品	適合

以上